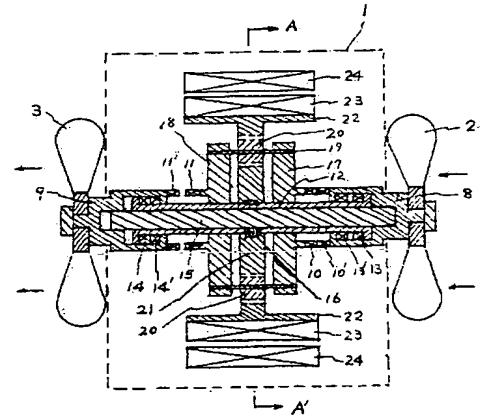


Application no/date: 1979-164681[1979/11/28]  
Date of request for examination: [ ]  
Accelerated examination ( )  
Public disclosure no/date: 1981- 81169  Translate [1981/ 7/ 1]  
Examined publication no/date (old law): [ ]  
Registration no/date: [ ]  
Examined publication date (present law): [ ]  
PCT application no:  
PCT publication no/date:  
Applicant: IZAWA MASATAKA  
Inventor: IZAWA MASATAKA  
IPC: F03B 13/12  
FI: F03B 13/22  
F-Term: 3H074AA01,AA12,BB02,BB03,CC16,CC50  
Expanded classification: 219,334  
Fixed keyword:  
Citation: [ , . . , ] ( , , )  
Title of invention: Generator by wave force of coast  
Abstract: [ABSTRACT]

Wave motion comes from a direction of right and left which, and an internal gear rotates in a constant direction, both force which wave motion puts and force to return can be used effectively.

## BEST AVAILABLE COPY





実用新案登録願

昭和54年11月28日

特許庁長官 川原能雄殿

1. 考案の名称 フリガナ カイガン ハシロク ハンテンキ  
海岸の波力による発電機

2. 考案者 実用新案登録出願人と同じ

フリガナ 住所(居所)

フリガナ 氏名

3. 実用新案登録出願人

郵便番号

410-111

フリガナ 住所(居所) 静岡県裾野市平松428の2

フリガナ (法人にあっては名称)  
氏名(及び代表者の氏名)

イザワマサタカ  
伊沢正孝

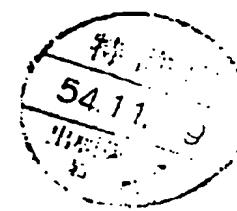


4. 添付書類の目録

- |          |    |
|----------|----|
| (1) 明細書  | 1通 |
| (2) 図面   | 1通 |
| (3) 願書副本 | 1通 |
| (4) ( )  | 通) |

54 164681 ✓ 8/11/69

方式  
審査



## 明細書

### 1. 考案の名称

海岸の波力による発電機

### 2. 実用新案登録請求の範囲

水中に固定した取付板(5)に、両端が開口する水流カバー(4)を設けた発電機(1)を取り付け、該発電機(1)は、クラッチ側およびクラッチ側を両端に設けた管軸側に、複数の遊星ビニオンギヤー側と噛合するホイルギヤー側を連結すると共にホイルギヤー側をはさんで、クラッチ側およびクラッチ側をそれぞれ有し、かつ、遊星ビニオンギヤー側のビニオン軸側により連結される2枚の回転板側面を回転自在に嵌設し、前記管軸側には、1端にクラッチ側と離着するクラッチ側およびクラッチ側と離着するクラッチ側を設けたクラッチ軸(8)を介して、スクリュー(2)を装着すると共に、他端にクラッチ側と離着するクラッチ側およびクラッチ側と離着するクラッチ側を設けたクラッチ軸(9)を介してスクリュー(3)を装着し、該スクリュー(2)とスクリュー(3)は筆

(1)

- 116 /

り方向を反対とし、かつ前記遊星ビニオンギヤーの回転子に装設した内歯車と噛合してなる海岸の波力による発電機。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は海岸の波力を利用して発電する発電機に関し、発電機の外側に設けた水流カバーの開口両端から交互に入る波の往復移動する力を有効に利用して、2個のスクリューを相互反対方向に旋回させる事により、発電機の回転子を一定方向に回転させて発電する発電機である。

第1図は本考案の概略構成図を示し、両側にスクリュー(2)と(3)を設け、かつ両端が開口する水流カバー(4)を有する発電機(1)の取付台(7)は、クランプ(6)によって水底に固定された取付座(5)に接着される。

この発電機(1)の構造は、第2図および第3図に示す如く、クラッチ部および軸を両端に設けかつ内部に芯軸部を嵌入した管軸部に、複数の遊星ビニオンギヤーと噛合するホイルギヤー部をキー部により連結すると共に、このホイル

ギヤー側をはさんで、その両側に、クラッチ<sup>10</sup>および<sup>11</sup>をそれぞれ有し、かつ遊星ビニオンギヤー<sup>12</sup>のビニオン軸<sup>13</sup>により連結される2枚の回転板<sup>14</sup>および<sup>15</sup>を回転自在に嵌設する。

前記管軸<sup>16</sup>には、1端にクラッチ<sup>10</sup>と離着するクラッチ<sup>16</sup>およびクラッチ<sup>17</sup>と離着するクラッチ<sup>18</sup>を設けたクラッチ軸<sup>8</sup>を嵌着し、このクラッチ軸<sup>8</sup>の先端にスクリュー<sup>2</sup>を接着する。また、他端にクラッチ<sup>16</sup>と離着するクラッチ<sup>16</sup>およびクラッチ<sup>17</sup>と離着するクラッチ<sup>18</sup>を設けたクラッチ軸<sup>9</sup>を嵌着し、このクラッチ軸<sup>9</sup>の先端にスクリュー<sup>3</sup>を接着する。スクリュー<sup>2</sup>とスクリュー<sup>3</sup>は捻り方向を反対にし、同方向から水流に対してはそれぞれ反対方向に回転するよう構成する。また、ホイルギヤー<sup>19</sup>と噛合する前記遊星ビニオンギヤー<sup>12</sup>は、他方では回転子<sup>20</sup>に嵌設した内歯車<sup>21</sup>と噛合し、ホイルギヤー<sup>19</sup>および回転板<sup>14</sup>の回転を回転子<sup>20</sup>に伝達する。

このように構成される本考案は、第2図に示

す如く矢符方向から寄せる波の力によってスクリュー(2)が回転すると、スクリュー(2)を支持するクラッチ軸(8)は波に押されて回転しながら矢符方向に振動し、クラッチ頭と頭<sup>13脚除</sup>が噛み合<sup>14</sup>うと同時に、クラッチ頭と頭の噛い合いが外れるから、クラッチ軸(8)は回転板頭に接続し、同時に管軸頭と離れ、スクリュー(2)の回転力は回転板頭を回転させビニオン軸頭を公転させる。従って、ビニオン軸頭により連結される回転板頭も同時に回転し、内齒車頭とホイルギヤー頭の間の複数の遊星ビニオンギヤー頭を押して回転させるから回転子頭に装設された内齒車頭に回転力を附与する。

次に、スクリュー(2)を通過した波は発電機(1)の外周を通り、スクリュー(3)を押しつつ回転させてるので、スクリュー(3)を支持するクラッチ軸(9)は、矢符方向に振動し、第2図に示す如くクラッチ頭と頭およびクラッチ頭と頭は外れ、同時にクラッチ頭と頭が噛合<sup>14</sup>う。従って、クラッチ軸(9)は回転板頭と離れ、同時に管軸(12)に接続

するから、回転板側は空転し、管軸側はクラッチ軸(8)と離れてスクリュー(3)と同方向に回転し、キー一組によって連結されたホイルギヤー側を回転させる。この場合、スクリュー側とスクリュー(3)はどちら方向が反対であるから、その回転方向は反対となる。従って、回転板側の回転とホイルギヤー側の回転は、第3図に示す如く方向は反対となるが、ホイルギヤー側と遊星関係に構成された遊星ビニオンギヤー側に作用する回転力は、同方向となるから、遊星ビニオンギヤー側によって回転する内歯車側に附与される回転力は、スクリュー(2)と(3)によって発生する回転力が同時に寄与する事となる。すなわち遊星ビニオンギヤー側は公転による自転以上に自転しながら公転するため、内歯車側に装設した回転子側はスクリュー(2)の回転と同方向で、スクリュー(2)の回転数の2倍以上の回転数で回転させる事が可能である。

次に矢符方向と逆の波力が作用する返す波の場合は、クラッチ側と側が噛み合い、クラッチ

如と如は外れ。同時にクラッチ如と如が噛み合  
い、クラッチ如と如が外れるから、スクリュー  
(3)は支持するクラッチ軸(9)を介して回転板如を  
回転し、同時にスクリュー(2)を支持するクラッ  
チ軸(8)は管軸如を回転させる。この場合、前述  
の如く、スクリュー(3)とスクリュー(2)は捻り方  
向が反対であるから、回転板如およびホイル  
ギヤー(1)は寄せる場合と同方向に回転し、内齒  
車如は波の方向にかかわらず一定方向に回転す  
る。従って、この内齒車如と連設する回転子如  
の回転により固定子(20)が発電するものであるか  
ら、波が左右どちらの方向から来ても内齒車如  
は一定方向に回転し、波の寄せる力と返す力の  
両方を有效地に利用する事ができる発電機である。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の概略構成図、第2図は発電  
機の構造図、第3図は第2図のA-A'部分断面  
図である。

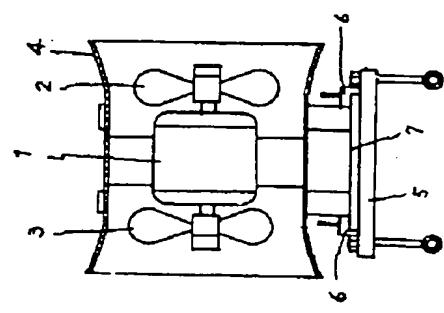
図中、(1)発電機、(2)スクリュー、(3)スクリュー、  
(4)水流カバー、(5)取付座、(6)タランブ、(7)  
(8)

取付台、(8)クラッチ軸、(9)クラッチ軸、(10)クラッチ、  
(11)クラッチ、(12)管軸、(13)クラッチ  
(14)クラッチ、(15)軸、(16)キー、(17)回転板、  
(18)回転板、(19)ビニオン軸、(20)遊星ビニオンギヤー、  
(21)ホイルギヤー、(22)内歯車、(23)回転子、(24)  
固定子を示す。

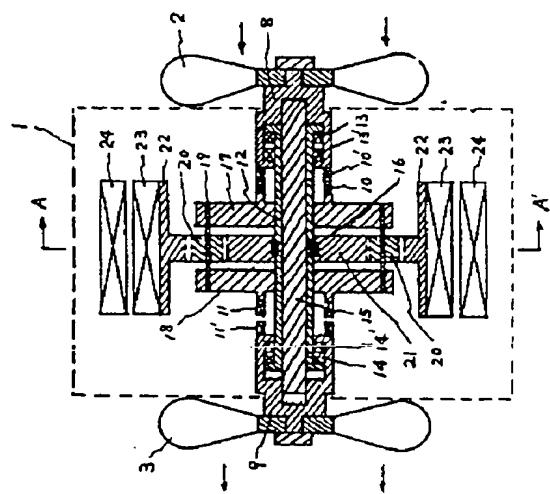
实用新案登録出願人

伊沢正孝

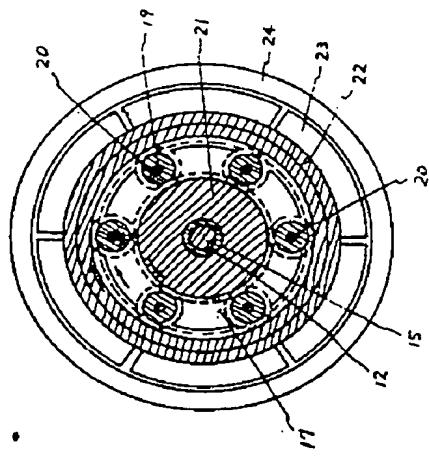
第1図



第2図



第3図



实用新型登録人  
伊 欽 正 夫

81169

公開実用 昭和56-81169

住 所 変 更 届

昭和55年 4月 9日

通

特許庁長官 川 原 能 雄

1. 事件の表示

昭和54年実用新案登録第164681号

2. 考案の名称

海岸の波力による発電機

3. 住所を変更した者

事件との関係 実用新案登録出願人

旧 住 所 静岡県裾野市平松428-2  
スンノシタマツ

郵便番号 410

新 住 所 静岡県沼津市柳町3番36号  
ヌマヅシヤハギチヨウ バンサンロク

氏 名 伊 沢 正 孝  
イ ザク マサ ハサキ

8/11/69

修正済

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

**BLACK BORDERS**

**IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

**FADED TEXT OR DRAWING**

**BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

**SKEWED/SLANTED IMAGES**

**COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

**GRAY SCALE DOCUMENTS**

**LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

**REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

**OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**